

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学と理科の3教科を実施しました。

国語と数学の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	76.1%			○		
国語B	61.2%			○		
数学A	66.1%		○			
数学B	46.9%	○				
理科	66.1%		○			

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.2%			○		
書くこと	73.9%	○				
読むこと	76.7%			○		
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5%				○	

【考察】

- 「書くこと」の領域において、伝えたい事柄を相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫して書くことが求められる設問で、正答率が低いところが見られました。相手に分かりやすく伝えられるよう、「何のために」「誰に」「何を」伝えるのかを意識して書かせるようくり返し指導していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均をやや上回っていますが、文法事項や書写に関する知識で正答率の低いところが見られました。文節相互の働きや語句の意味を理解して文章を書く活動を取り入れたり、書写の基礎・基本となる事項を繰り返し指導したりすることで、さらに確かな力を身につけられるよう努めていきます。
- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域では、全国とほぼ同水準となっています。「読むこと」では、段落相互の関係や、さらに大きな意味のまとまりごとにどのような役割を果たしているのかを捉えるために、文章全体の構成を図解したり、まとまりごとに内容を要約したりしながら文章を読む力をつけていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	76.6%			○		
書くこと	31.3%	○				
読むこと	53.5%		○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	49.2%	○				

【考察】

- 古文を基に書かれた文章を読んで、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、さらに読みとった内容を書く、という「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3領域を含む記述問題の正答率が全国と比べ下回りました。登場人物の言動の意味を考え、登場人物や作者の思いを想像しながら読むことによって、作品全体の理解につなげていけるよう指導していきます。
- 文章を読んで、中心部分と付加的な部分を読み分け、必要な内容を選択・整理して書くことに課題が見られました。段落の役割を考えさせたり、要約をしたりしながら、文章全体の要旨を捉えさせる活動を行っていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	71.1%				○	
図形	69.1%	○				
関数	55.5%	○				
資料の活用	63.5%		○			

【考察】

- 「数と式」の領域では、基本的な計算や知識に関する問題がよくできています。週末課題の取り組みや計算コンテストの実施など、基本的な内容を問う問題に多く取り組んだ成果と考えます。今後も継続して計算練習に取り組ませていきます。
- 「図形」の領域では、基本的な図形の見方はしっかりとできています。しかし、作図問題や図形の条件を考える問題について課題があります。今後は基本的な作図の方法の再確認と道筋を立てて証明を行う練習に力を入れていきます。
- 「関数」の領域では、表とグラフを対比させて考える力が身についています。しかし、グラフをかいたりグラフを読み取ったりする問題について課題があります。今後はグラフの意味をよく理解させながら練習に力を入れていきます。
- 「資料の活用」の領域では、中央値を求めるなど基本的な知識は身についています。しかし、計算上の確率が表す値の意味の理解が不足しています。今後は確率をただ求めるだけでなく、その値の意味もしっかりと考えさせていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.4%			○		
図形	46.7%	○				
関数	52.8%			○		
資料の活用	38.0%	○				

【考察】

- 「数と式」の領域では、計算式を解釈して数学的な表現で説明する力が身についています。しかし、逆に計算により物事を説明する力が若干不足しています。今後は多角的に物事を見て判断したり説明したりする力を伸ばせるようにしていきます。
- 「図形」の領域では、図形に条件が加わったときに新たな事柄を見いだす力が身についています。しかし、証明内容からわかることを適切に述べる問題について課題があります。今後は証明を形式的に覚えるだけでなく、証明の意味することを深く考える思考力を伸ばせるようにしていきます。
- 「関数」の領域では、グラフからわかることを読み取り説明する問題はしっかりとできています。しかし、具体的にグラフのどのようなところに注目して課題を解決するかを論理立てて説明する問題について課題があります。今後はただ答えを求めるだけでなく、求める過程を説明する力を伸ばしていきます。
- 「資料の活用」の領域では、与えられた情報から必要な情報を選択し処理する問題について課題があります。今後は与えられた資料や情報の中から必要なことを正しく選択する力を伸ばしていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物理的領域	74.4%	○				
化学的領域	65.0%		○			
生物的領域	72.5%					○
地学的領域	57.8%	○				

【考 察】

- 生物的領域は全国平均を上回っています。無セキツイ動物と軟体動物のからだのつくりの特徴に関する知識を活用できています。また、神経系のはたらきについての知識を身につけていますので、今後も知識の定着を図っていきます。
- 物理的領域は全国平均を下回っています。オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができていないため、基本の問題演習を繰り返し行うことで、電流に関する基礎・基本の知識の定着を図るようにしていきます。
- 地学的領域は全国平均を下回っています。実験結果やシミュレーションの結果を考察する段階で、結果から分かったことを考察として文章化する能力がやや弱いので、予想や考察の場面で根拠を基に考えが述べられるよう定型文やキーワードを用いることで、文章表現の力を身につけさせていきます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9
3	中央中	14.3	33.6	42.9	7.9	0.7	0.7

(単位 %)

【考察】

- 1時間から3時間程度の勉強をしている割合がおおよそ75%となっており、家庭での学習習慣は身につけている傾向にあります。また、3時間を超える勉強をしている割合はおおよそ15%となっており、全国と比較してやや長く学習をしている様子が見られます。
- 今後は学習の量を増やしていきながら、質的な改善を図れるよう支援してまいります。ご家庭でも励ましの言葉などお願いします。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえはしている	あまりしていない	全くしていない
中	全国	16.6	35.5	34.8	13.0
3	中央中	22.9	45.7	25.7	5.7

(単位 %)

【考察】

- 比較的計画性をもって学習に取り組んでいる傾向にはありますが、3割強の生徒が無計画に学習している様子が見られます。
- 今後は、進路実現に向けて目標を持たせ、長期的に計画性をもって学習に取り組んでいくよう支援してまいります。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中 3	全国	6.1	8.7	16.1	22.6	13.5	32.9
	中央中	1.4	11.4	26.4	35.7	8.6	16.4

(単位 %)

【考察】

- 全国と比較すると、「10分以上30分未満」のごく短時間の読書が多く、「10分未満」「全くしない」の極端に少ない時間や「2時間以上」という長時間の読書も割合的に少なくなっています。
- 日常的に本を手にとって読む傾向にはありますが、依然本に親しんでいるとはいえない状況がうかがえます。学校図書館の利用を促したり、余暇の過ごし方に読書を取り入れるよう勧めたりしながら、本に親しむ態度を育ててまいります。

4 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

		寝ている	どちらかといえ ば寝ている	あまり寝ていない	全く寝ていない
中 3	全国	35.6	38.6	19.2	6.5
	中央中	31.4	43.6	19.3	5.7

(単位 %)

【考察】

- 本校は全国と同水準にはありますが、「寝ている」と答えた割合は31.4%と全国を下回っており、やや生活が不規則になっている生徒の割合が多い状況が見られます。
- 学習や余暇の時間の使い方に注意し、家庭において規則正しい時間で生活できるよう指導していきたいと思っておりますので、家庭でもご協力をお願いします。

5 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

		参加したことがある	参加したことがない	分からない
中 3	全国	51.8	21.8	26.2
	中央中	34.3	42.1	23.6

(単位 %)

【考 察】

- ボランティア活動に「参加したことがある」と答えた割合は、全国と比べおよそ15ポイント低くなっています。福島県全体と比較してもおよそ10ポイント低い状況です。
- 他人のために何か自分にできることがあるのか、という問いを投げかけながら、各種ボランティア活動の実践に結びつけていけるよう支援していきます。他との関わりが希薄になってきている現代社会に生きる中で、ボランティア活動に取り組む姿勢は重要であると考えますので、これから自分がどのように他との関わりをもって生きていくのかを考えさせていきたいと思えます。